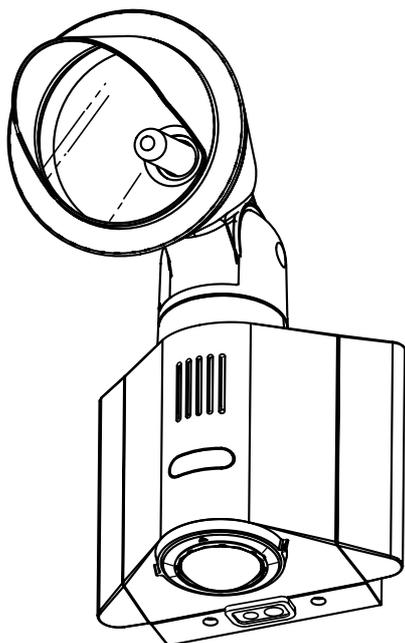


光の見張り番 センサライト

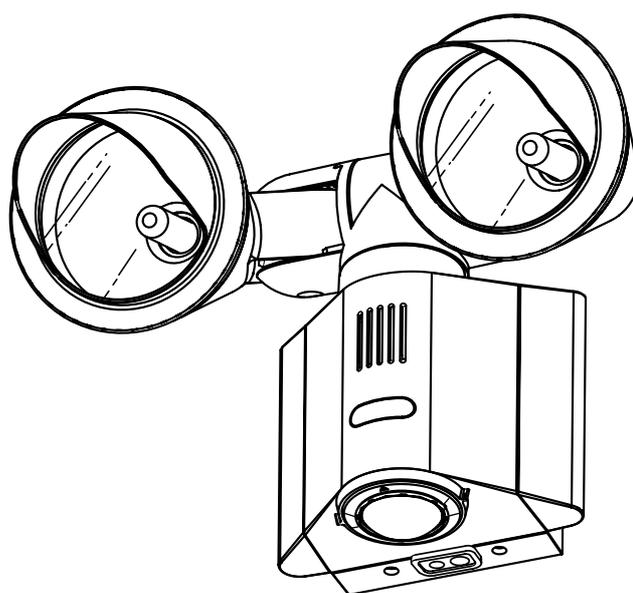
1灯式

SL101A



2灯式

SL102A



※ ハロゲン電球およびライトフードは、ご購入時には取り付けておりません。5ページの「電球の取り付け（交換）方法」および10ページの「ライトフードの取り付け方法」を参照して取り付けてください。

製品の特長

- 付属のライトフードを取り付けると、正面の家屋や歩行者の迷惑にならないように上方向の眩しさを低減します。
- 人体検知エリアは下向き360度で、真下や後方も検知します。
- 2つのモード（自動点灯／強制点灯）が選択できます。
- 威嚇効果を発揮する赤色3連LED付き。
- 明るさセンサ調整で夜間のみ点灯させたり、点灯時間調整でライトの点灯時間を調整（約5秒～約5分）できます。
- 優れた防雨性能。（JIS保護等級IPX5準拠）（注1）
- トランス式電源回路による安全設計。
- 交換用ランプは入手しやすいE11形口金式ハロゲン球を使用。
- 電源コードは脱着可能。お好みの長さのコードに交換が容易です。（注2）
- JISスイッチボックス取付が可能。（注2）

（注1） IPX5とはJIS規格によるIPコード（保護等級）で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても有害な影響を及ぼさない性能を意味します。

（注2） 電源工事には資格が必要です。ご購入店に相談してください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この〈安全上のご注意〉をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

表示について：取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

- 指定された電源（AC100V 50/60Hz）以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間ライト部およびライトフードは熱くなっていますので絶対に素手で触れないでください。やけどの原因となります。



- 電源工事が必要な場合は、電気工事が行える販売店か電気工事店に依頼してください。電気工事士の資格がない場合、電気工事をする場合は、法律で禁止されています。



- 屋外コンセントは、防雨形を使用してください。屋外で屋内用のコンセントを使用すると、漏電や感電の原因となります。



- 電球の交換は、電源プラグをコンセントから抜き（電源コードを直接壁面から接続している場合はブレーカを切って）、ライト部および電球の温度が十分下がった後行ってください。感電・やけどの原因となります。



- 分解、改造、修理はしないでください。感電・火災・故障の原因となります。故障した場合はご購入店に修理を依頼してください。



- 下記のような場所に設置しないでください。

- ・わらびき屋根の軒下など可燃物が近くにある場所。
- ・ベランダ等、洗濯物や布団などがこの製品に触れるおそれのある場所。
- ・風により可燃物が飛んできてこの製品をおおうおそれのある場所。

また、ライト部に可燃物製のフードや囲いなどをつけないでください。火災の原因となります。



⚠ 警告

- 万一、この製品から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態に陥った場合、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源プラグをコンセントから抜いて（電源コードを直接壁面から接続している場合はブレーカを切って）、煙が出なくなるのを確認してからご購入店に相談してください。



- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き（電源コードを直接壁面から接続している場合はブレーカを切って）、消灯後本器の温度が十分下がった後行なってください。感電・やけどの原因となります。



- この製品を設置した後、しっかり固定されているか、また、ときどきぐらつきがないか確かめてください。固定が不十分な場合、落下して、けが、感電、故障の原因となります。



- 使用時は必ずガラスカバーを正しく取り付けてください。埃、雨水等が内部に入り、漏電、感電、火災、故障の原因となります。



- 電源コードはライト部に接触しないように確実に壁面等に固定してください。点灯中はライト部が高温になり、電源コードが接触すると事故や火災の原因となります。



- 電源コードの上にものを載せたり、コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定してください。ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。



- ぬれた手で、電源プラグをコンセントに抜き差ししないでください。感電、漏電、故障の原因となります。



- 雷が発生しているときは、設置工事をしたり、この製品に触れないでください。感電、けがの原因となります。



- 点灯しているライトを直接見ないでください。視力障害の原因となります。



- この製品に空気の流れを妨げるすっぽり覆うような囲いをつけないでください。高温になり火災、故障の原因となります。



- 設定等ではずしたガラスカバーやゴムキャップ等は、設定終了後必ず元通り取り付けてください。はずした状態で使用すると内部にほこりや雨水等が入り、火災、漏電、感電、故障の原因となります。



⚠ 注意

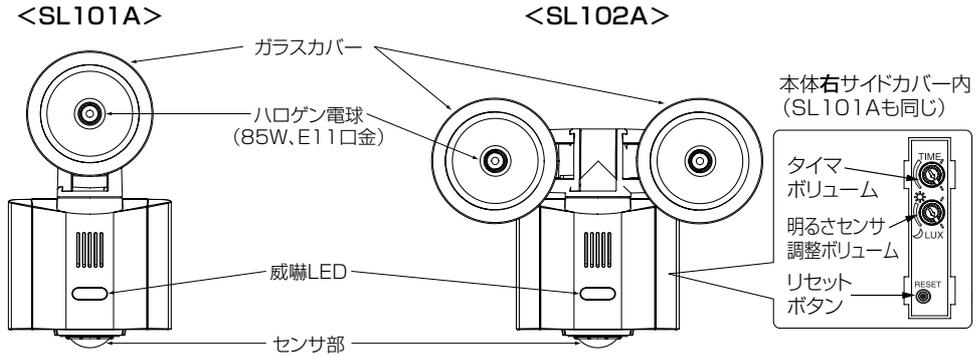
- お手入れは、柔らかい布で乾拭きか、薄めた中性洗剤に浸してかたく絞った布で行なってください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの薬品は使わないでください。変色、変形、変質の原因となります。



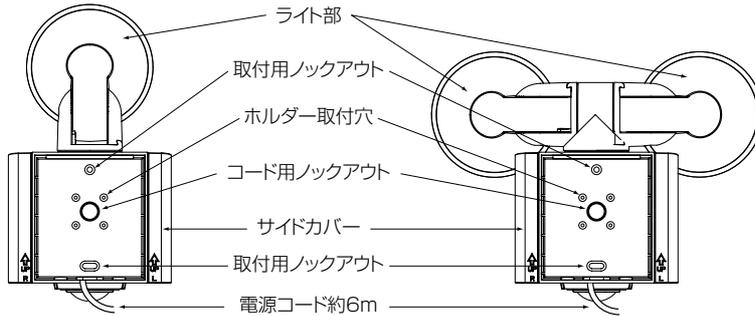
- 電波を発生する機器の近くに設置しないでください。電波によりセンサが誤動作するおそれがあります。



1. 本体表面



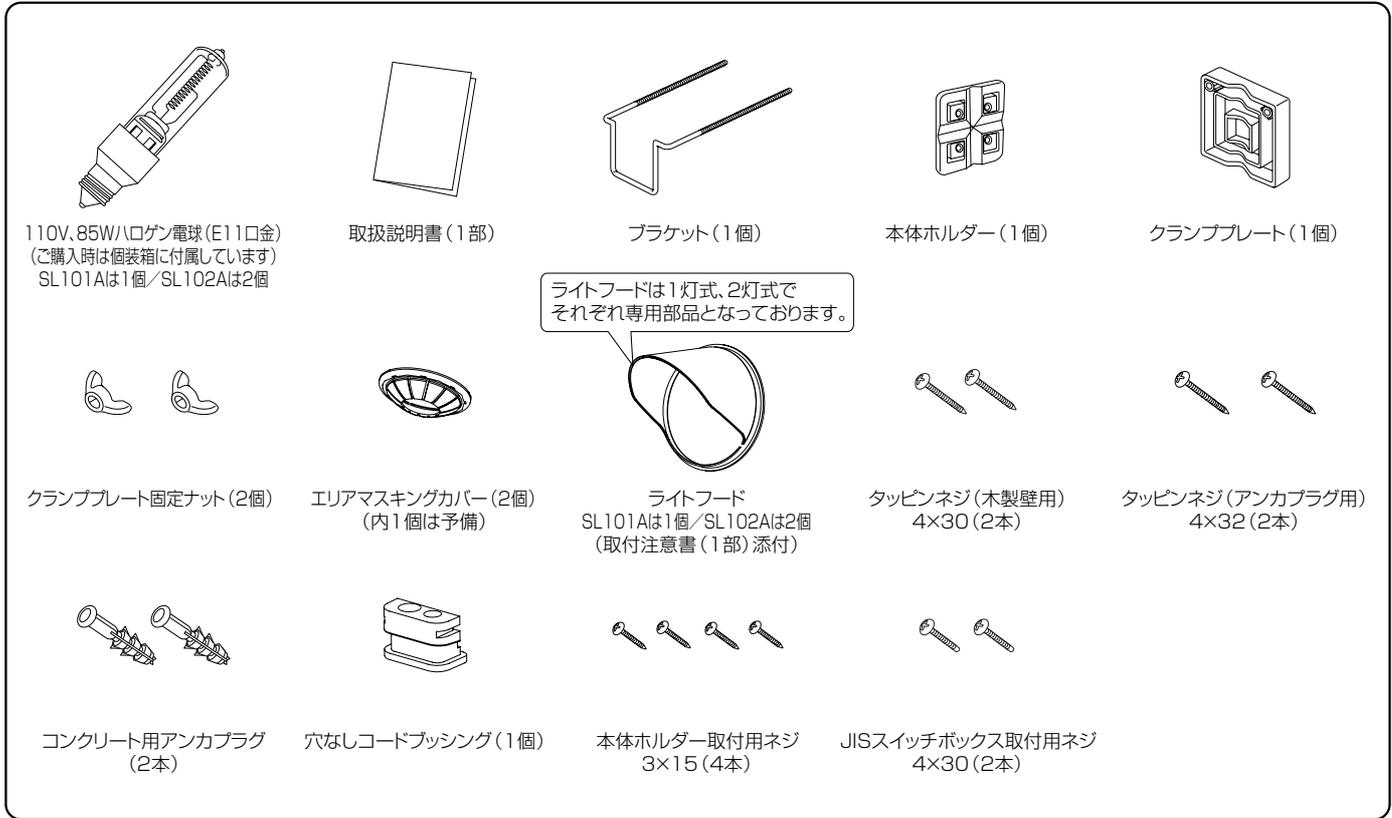
2. 本体裏面



注意

AC100Vコンセントが近くにない場合や、電源コードを加工したり、脱着、お好みの長さのコードに交換する場合は販売店、または電気工事店に工事を依頼してください。

3. 付属品



1. 電球の取り付け（交換）方法

※電球寿命の目安…1回約5分間の点灯を1日5回行なった場合、約2年です。

①必ず本体の電源プラグをコンセントから抜く、もしくはブレーカ等で電源を切った後、片手でライト部をしっかりと持って、もう一方の手でガラスカバーを左（反時計）回りに回してはさずしてください。

②電球を交換する場合は、古い電球を左（反時計）回りに回してはさずし、新しい電球を押し込みながら右（時計）回りに回してしっかりと取り付けしてください。

③ガラスカバーを右（時計）回りに回して取り付けしてください。

▽印と△印を合わせます。 ▽印と▲印を合わせます。

高温注意

電球取扱い 素手厳禁

※交換球は必ず、市販のハロゲン電球85W（E11口金）を使用してください。（型式:JD110V85WまたはJD100V85W）定格が85Wを超える電球は使用しないでください。火災、事故、故障の原因となります。

※誤まって85Wを超えた電球を使用すると、安全のため動作しなくなる場合があります。復帰には機器内部の部品交換（修理）が必要となります。

注意

- ・ガラスカバーの▽印と本体の▲印が合っているか、十分確認してください。斜めになっていたり、しっかり締め付けられていないと雨水等が入り故障の原因となります。
- ・交換するときは必ず、電源を切って、十分に温度が下がってから行なってください。
- ・電球は素手でさわらないでください。指紋が着くと電球寿命が短くなります。（すぐに球切れをおこす場合があります）指紋が着いた場合、乾いた布でよく拭き取ってください。
- ・電球は衝撃により球切れを起こしやすいため、交換時や、ライト部に取り付けて移動する場合は注意して取り扱ってください。（特に点灯中や点灯直後の熱くなっている間は衝撃を与えないよう注意してください。）
- ・この製品を使用する初期段階で、ガラス面の内側やライト反射板の表面に白い粉が付着する場合があります。万一白い粉が付着した場合は、素手で触れず、必ず布等で拭き取ってください。

2. 本体の取り付け方法

警告 この製品に電源が入った状態でライト部の30cm以内には（壁面以外）物を近づけないでください。また、天井への取り付けはしないでください。火災の原因となります。

(1) 壁面に取り付ける場合（コンクリート壁やコンクリートブロック、木製の壁等への取り付け）

①本体下部のベースロックネジをプラスドライバーでゆるめてベースを取り外してください。

②ベースの取付用ノックアウト（上下2か所）を破り、壁にφ3.0mmの下穴をあけて付属のタッピンネジで壁に固定してください。

③壁に固定したベースに本体を取り付けてください。

④本体がベースにしっかりとハマったことを確認して、本体下部のベースロックネジをプラスドライバーでしっかりと締めてください。

●コンクリートに直接取り付ける場合

コンクリートドリル φ6.0mm

(1)ベースの取付用ノックアウト穴位置に合うように、コンクリートにφ6.0mmの穴をあけてください。

アンカプラグ

(2)付属のアンカプラグを穴に差し込み、かなづち等で壁の面に合うよう軽く打ち込んでください。

4×32mm

(3)ベースを取り付け、付属の4×32mmのネジで壁に固定してください。

ベース

●木製の壁に取り付ける場合

ベースを付属の4×30mmのネジで壁に固定してください。

※取付ピッチ:83.5mm（JISスイッチボックス適合ピッチ）

※埋込配線をする場合は6ページおよび12ページの「配線方法」を参照して配線を行なってください。

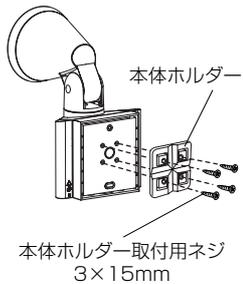
(2) ポール・柵に取り付ける場合（カーポートやベランダ、柵等への取り付け）

⚠ 注意

- ・必ずセンサ部分が下になるよう取り付けてください。
- ・ブラケットは下から、または横向きに本体ホルダーに差し込んでください。誤った取り付け方をすると落下等による火災・感電・けがの原因となります。
- ・万一、突風や衝撃等により本体が落下した場合危険ですので、本体を取り付け後、本体のすぐ下あたりの電源コードを市販品の自在バンドやステップル等でしっかり固定してください。

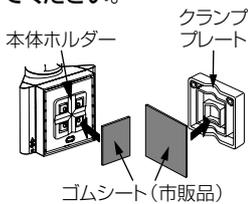
〈はじめに〉

付属の本体ホルダーを本体ホルダー取付用ネジでベースに取り付けてください。



⚠ 注意

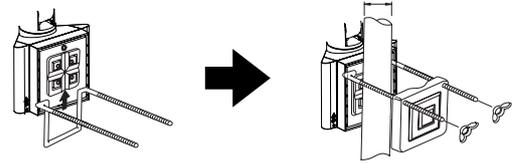
取り付け後、本体がずれたり、落下しないか確認してください。滑りやすいポールや柵等に取り付けた場合、突風や衝撃で本体が落下するおそれがあります。その場合、下図のように本体ホルダーとクランププレートに市販品のゴムまたはシリコン系シート等を挟んで本体が滑らないように取り付けてください。



①縦向きポールに取り付ける場合

- (1) ブラケットのU字部分を下から本体ホルダーに差し込んでください。
- (2) ポールをブラケットで挟み込むようにして付属のクランププレートを取り付け、クランププレート固定ナットでしっかりと締めてください。

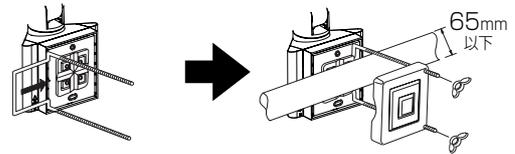
※直径65mm以下のポールに取り付けできます。
65mm以下



②横向きポールに取り付ける場合

- (1) ブラケットのU字部分を横から本体ホルダーに差し込んでください。
※左右どちらからでも差し込むことができます。
- (2) ポールをブラケットで挟み込むようにして付属のクランププレートを取り付け、クランププレート固定ナットでしっかりと締めてください。

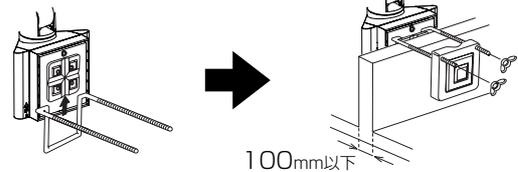
※直径65mm以下のポールに取り付けできます。



③縦向きの柵または太いポール・柱に取り付ける場合

- (1) ブラケットのU字部分を下から本体ホルダーに差し込んでください。
- (2) 柵をホルダーとクランププレートで挟み込むようにしてクランププレートを取り付け、クランププレート固定ナットでしっかりと締めてください。

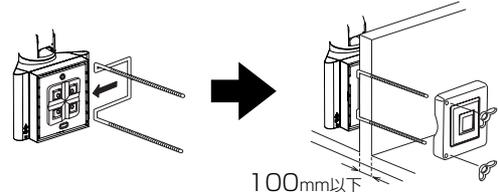
※厚み100mm以下の柵に取り付けできます。



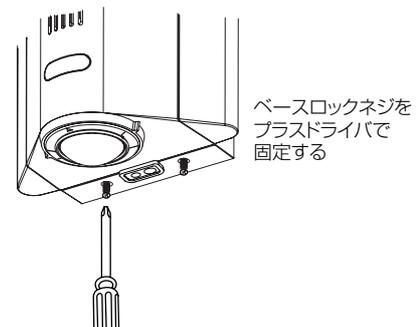
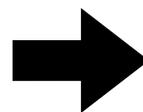
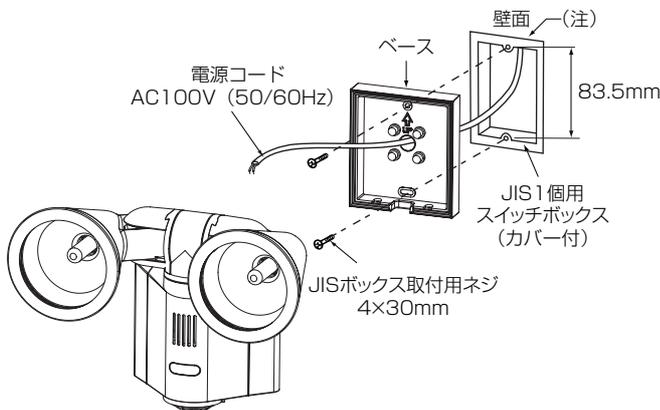
④横向きの柵または太いポール・柱に取り付ける場合

- (1) ブラケットのU字部分を横から本体ホルダーに差し込んでください。
※左右どちらからでも差し込むことができます。
- (2) 柵をホルダーとクランププレートで挟み込むようにしてクランププレートを取り付け、クランププレート固定ナットでしっかりと締めてください。（左記の注意参照）

※厚み100mm以下の柵に取り付けできます。



(3) JIS1個用スイッチボックス（カバー付）の場合（電気工事士の資格が必要です）



※電源コードの配線方法は12ページの「配線方法」を参照してください。

※別途、電源スイッチを設けることをおすすめします。電球交換時や長期間使用しない場合に便利です。

（注）壁面とベース間のすき間には雨水等が入らないようにシリコン系のボンド等でシーリング処理をしてください。

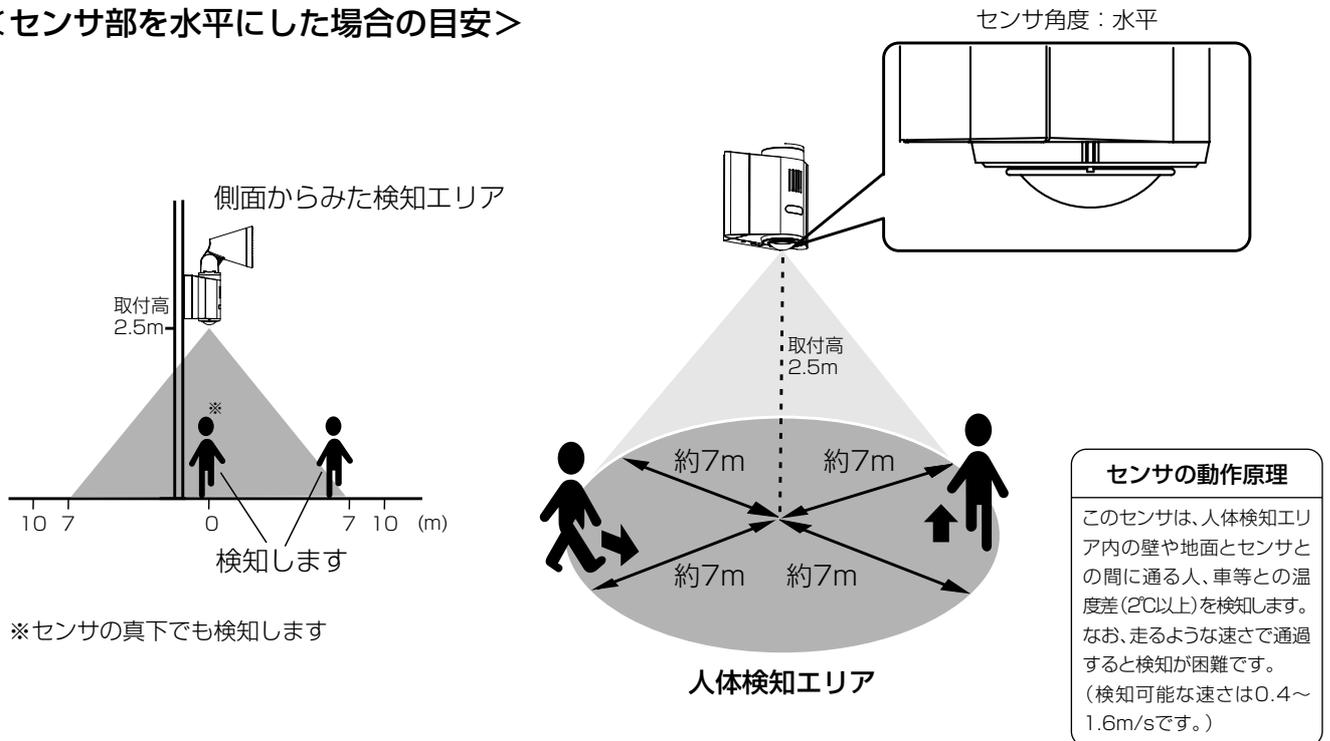
3. センサ検知範囲（人体検知エリア）

●センサは、最長約10m、最大360°の範囲（下図参照）で動く人や車等を検知します。

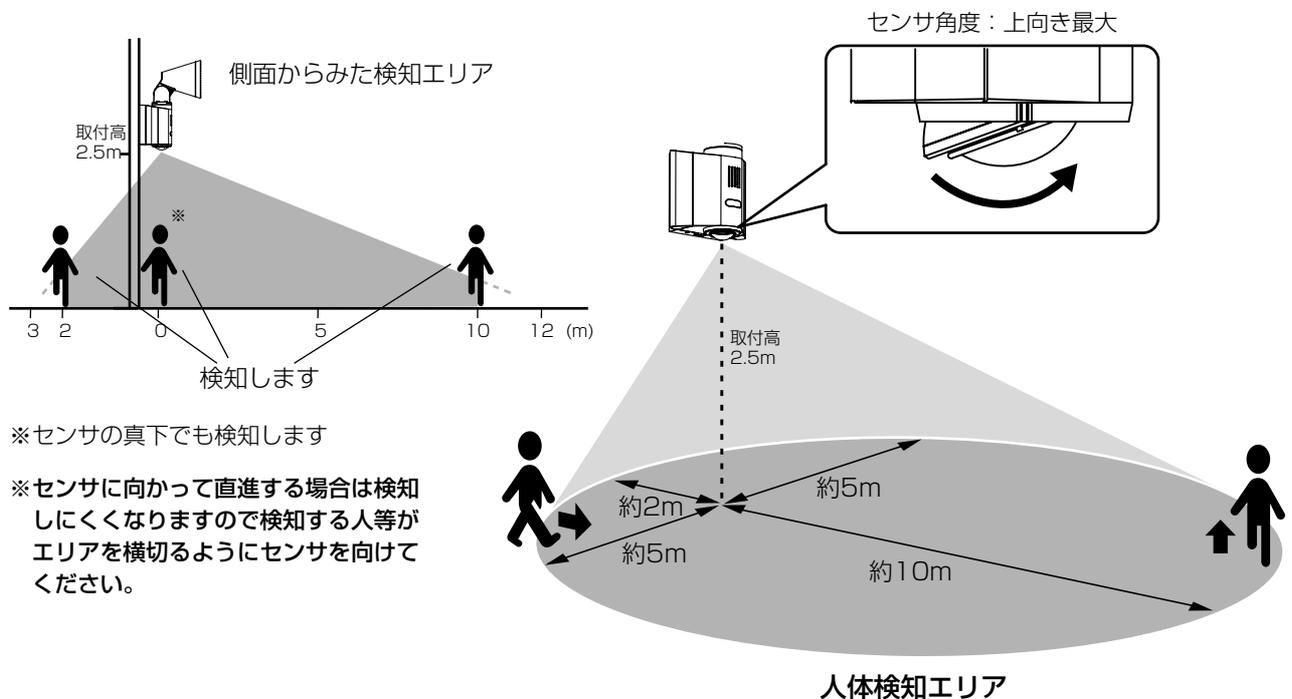
※なお、この章で説明している「人体検知エリア」のことを文章中では単に「検知エリア」と表現しています。

※下図の検知エリアは取付高2.5mの場合の目安です。なお、取付高が2.5mより低い場合は検知エリアはせまくなります。逆に、高い場合は検知エリアは広くなりますが、検知しにくくなります。8ページの「4. センサ部の角度調整」を参照の上、実際の取付場所で検知動作を確認してから取り付けてください。

<センサ部を水平にした場合の目安>



<センサ部を上向き最大に傾けた場合の目安>



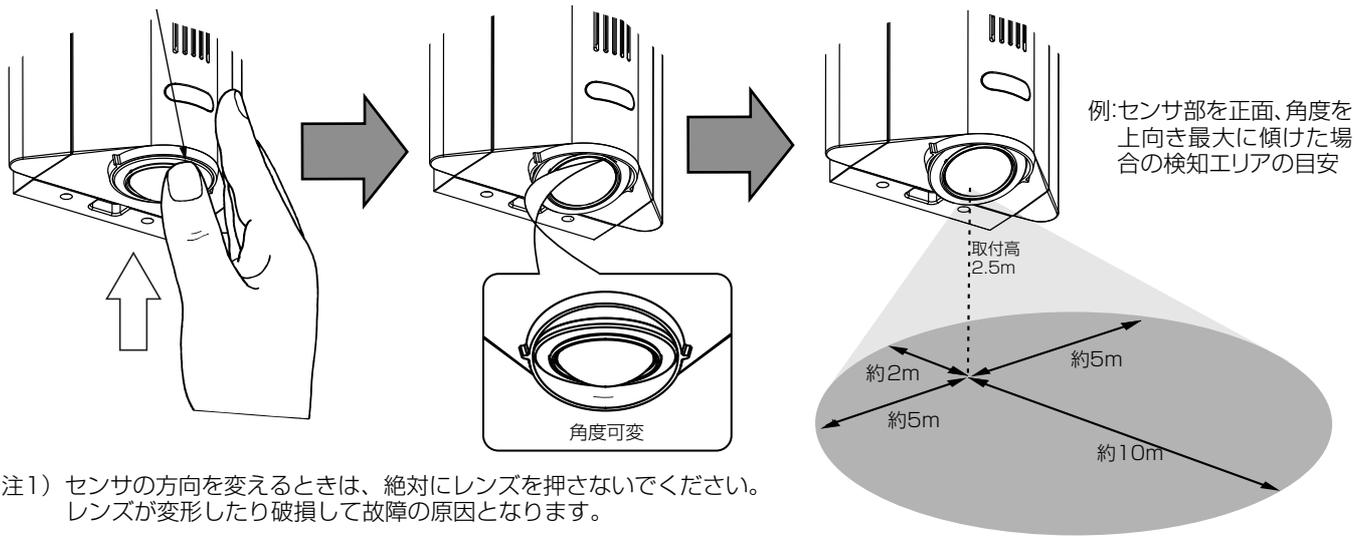
※検知エリアは周囲の環境、気温、天候により変化します。(雨のかかったレインコートや冬場重ね着をした場合等、検知エリア内の地面、壁等と検知エリアを通る人等との温度差がほとんどない場合は検知しにくくなったり、検知しないこともあります。)

4. センサ部の角度調整

● センサ部を上向きに傾けた場合の検知エリア

手でセンサ部の△マーク部を押し上げてください。(注1)

検知エリアが前方に広がります

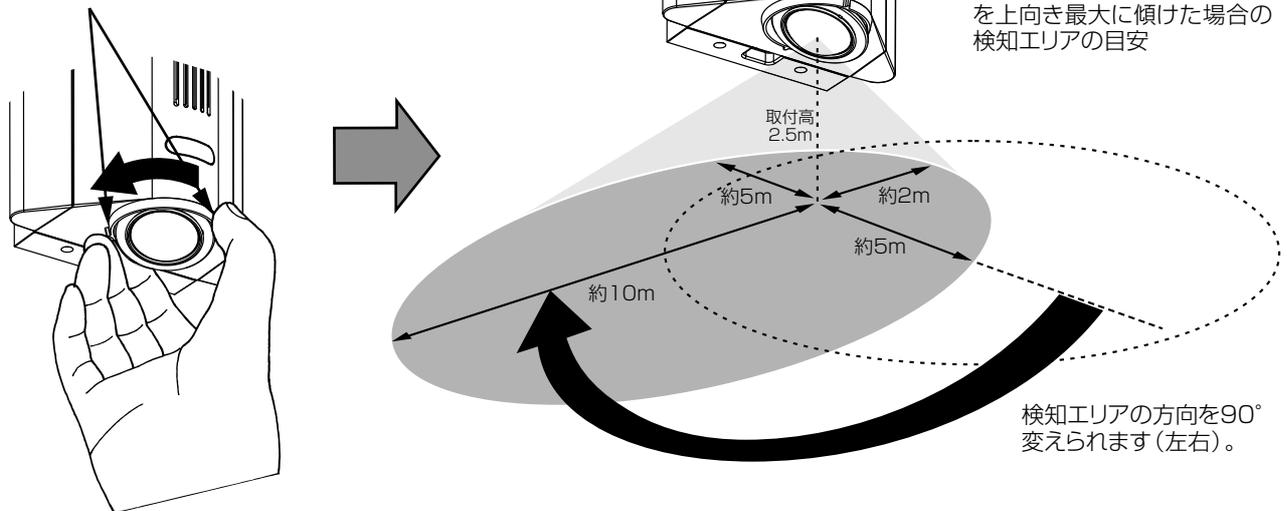


注1) センサの方向を変えるときは、絶対にレンズを押さないでください。レンズが変形したり破損して故障の原因となります。

● センサ部を水平方向に回転させた場合の検知エリア

センサ部は水平方向に左90°、右90°回転ができます。

センサ部の両側の突起を持って回転させてください



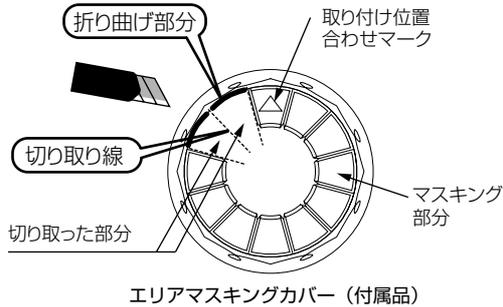
⚠ 注意

- この製品のセンサは検知エリア内の温度変化を検出する方式ですが、ゆっくりと温度が変化するか、また、急激に温度が変化する場合は、検知動作しないことがあります。
- センサ部のレンズを傷付けたり、変形させたりしないでください。またホコリが付着した場合は柔らかい布で拭き取ってください。検知感度が低下したり、検知エリアが変化したりします。
- この製品のお手入れは柔らかい布で空拭きか、中性洗剤を薄めた水に浸した後、固く絞った布で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの薬品は、表面の変色、変形の原因となります。
- 使用中に異常が発生した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き取り（またはブレーカ等を切って）、ご購入店へ相談してください。ご自分での点検、修理、改造は絶対に行わないでください。
- ライト部およびライトフードは非常に高温になりますので、電源コードがライト部やライトフード、ガラスに触れないように取り付けてください。
- この製品は自動照明、一般照明、来客、通報、威嚇照明として使用する目的以外では使用しないでください。なお、空巢、強盗、変質者の侵入等による損失、損害等に関しましては当社は一切責任を負いかねますのでご了承願います。

5. エリアマスクングカバー

人体検知エリアを制限する為のマスクングカバー（下図）を取り付けるとお好みの検知エリアを設定できます。小動物の通り道や歩道に面した場所での設置など検知させたくないエリアがある場合に使用してください。なお、エリアマスクングカバーは、センサ部と一緒に回転します。

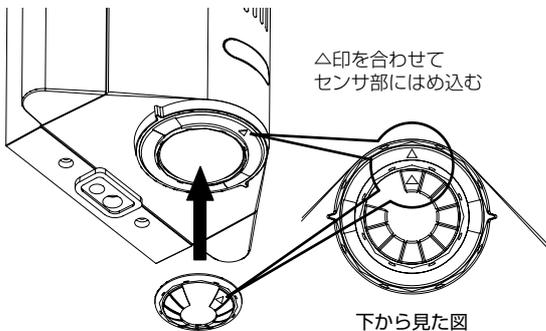
下図のように検知させたくない場所を**残して**切り取ってください。（注1）



エリアマスクングカバー（付属品）

カッター等で縦方向に2か所（上図点線部分）切り込みを入れると簡単に折ることができます。（注1、注2）
 なお、上図のように2か所以上切り取る場合は、各々の両側に切り込みを入れて1つずつ丁寧に折ってください。

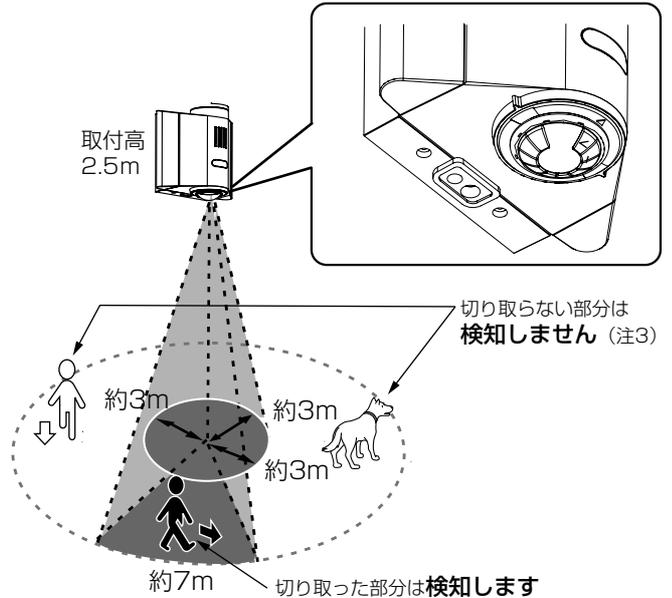
● エリアマスクングカバーの取り付け



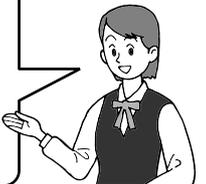
⚠ 注意 カッター等を使用する場合は、けがをしないよう十分注意してください。

● エリアマスクングカバーを使用した場合の検知エリア

例：センサ角度：水平(0°)



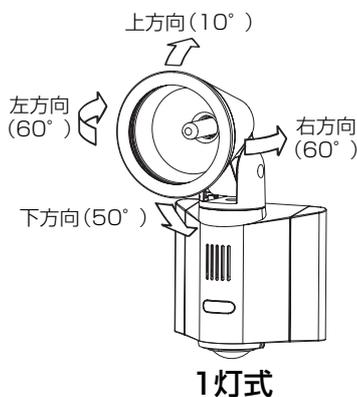
- (注1) センサ部に取り付けた状態でエリアマスクングカバーをカッターで切り取ると、センサレンズにキズがついたり、破損して人体検知性能が維持できなくなります。そのため**必ずセンサ部からはずした状態で切り取ってください。**
- (注2) エリアマスクングカバーの△印が入った部分を切り取る場合は、本体との位置合わせが行いにくくなります。そのため、あらかじめ両方の△印の位置を確かめてから切り取ってください。
- (注3) 季節、気温、天候により、切り取らない部分でもセンサ部から数十センチ以内は人体を検知する場合があります。そのため、実際の使用場所で確認しながら作業してください。



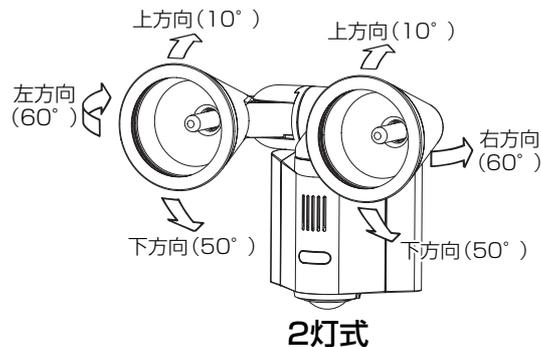
6. ライト部角度調整

ライト部の角度を調整して、ライトの向きを調整します。

(注) 2灯式の場合、ランプは内側(→←)に回転移動しません。



1灯式



2灯式

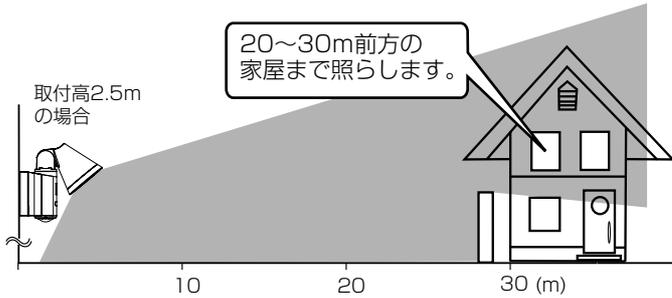
⚠ 注意

- 上記の角度以上に無理に回転させないでください。故障の原因となります。
- ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間、ライト部およびライトフードは熱くなっていますので絶対に素手で触れないでください。やけどの原因となります。

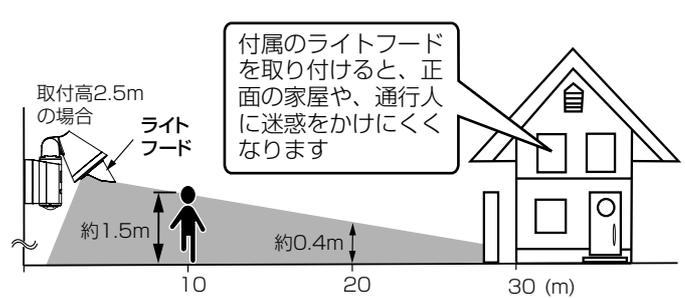
7. ライトフードの効果と取り付け方法

付属のライトフードを取り付けると、下図のようにライトを照らす範囲を遮光することができます。

● ライトフードなしの場合 (ライト下向き50°)



● ライトフードありの場合 (ライト下向き50°)



<注意> ライトフードは、ライトの上部のみに取り付け可能です。(ライトの横や下部には取り付けできません)

● ライトフードの取り付け方法 ※図では1灯式で説明していますが、2灯式も同様に行なってください。

<p>① ライト部の温度が十分下がっていることを確認し、ガラスカバーを取りはずします。</p>	<p>② 下図のように防水パッキンを取りはずします。次にガラスと赤色リングを取りはずします。</p> <p>取扱い注意！ 落下させると破損しますので、注意してください。</p>
<p>③ 赤色リングの代わりにライトフードをガラスカバーとガラスの間に取り付けます。(ライトフードは1灯式、2灯式でそれぞれ専用部品となっています。)</p> <p>※赤色リングは大切に保管してください。(ライトフードなしで使用する場合は、上記のライトフードの代わりに取付けてください)</p>	<p>④ 防水パッキンを↓の方向に均一に押し込んで、ガラスにむらなく密着させてください。</p> <p>完成</p>
<p>⑤ 右図のようにガラスカバーを取付けます。</p> <p>次に時計回り方向にガラスカバーを回します。</p> <p>▽印と△印を合わせます。</p> <p>▽印と▲印を合わせます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ず▽印が▲印に合う所まで回してください。(ずれていると防水性能が低下します) 回すときライトフードの端で手を切らないように注意してください。 </div> <p>※必ずガラスカバーを持って回してください。ライトフードを持って回すとライトフードが変形したり、位置がずれて防水性能が低下する場合があります。</p>	

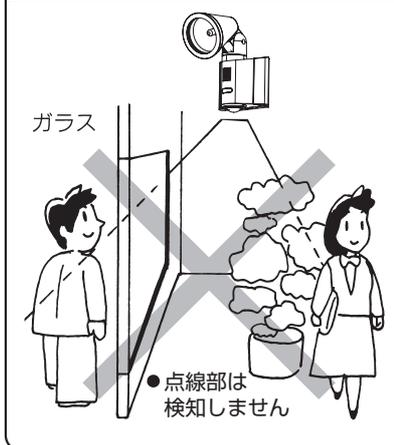
<p>⚠ 警告</p>	<p>火災や内部への浸水などによる重大事故、および故障の原因となりますので次のことは絶対にやめてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライトフードや本体の改造。 ・本体の取り付けを横向きにした、天井付けや逆さまに取り付けるなど。 ・付属のライトフード以外のものでもライト部を覆う。 ・ガラスカバーを緩めた状態でライト部に取り付ける。
--------------------	---

センサは向けている壁、地面とその間を通る人、車との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあつたり、急激な温度変化をひきおこす要因があると感度が極端に鈍くなつたり、誤動作する原因となります。

検知しない

設置場所を変更してください。

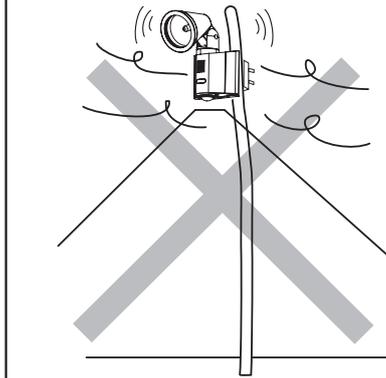
- 検知エリア内に障害物がある
(植木、ガラスなど)



誤動作する

下記のような場合は設置場所を変更、または付属のエリアマスキングカバーで誤動作を起こさないように検知エリアを制限してください。(9ページ参照)

- 不安定なポールや壁面に設置
(検知エリアが定まらない)

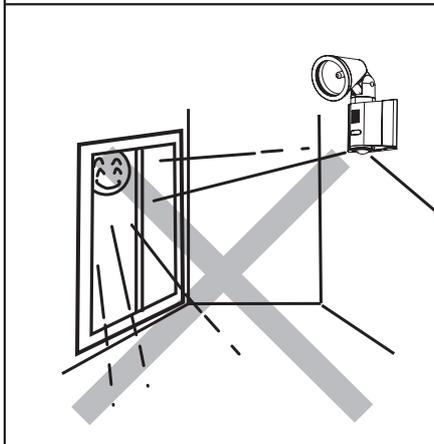


- センサライトの周辺(壁越しを含む)で携帯電話などの移动通信機器を使用

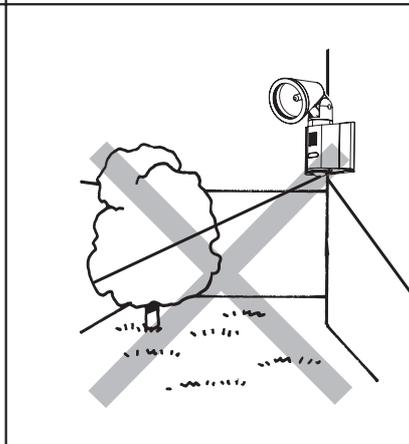


注) 1m以上離れてください

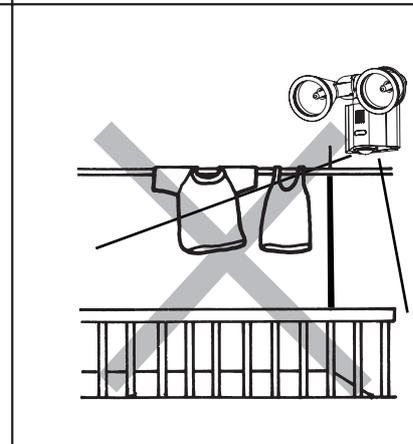
- 検知エリアが窓に向いている



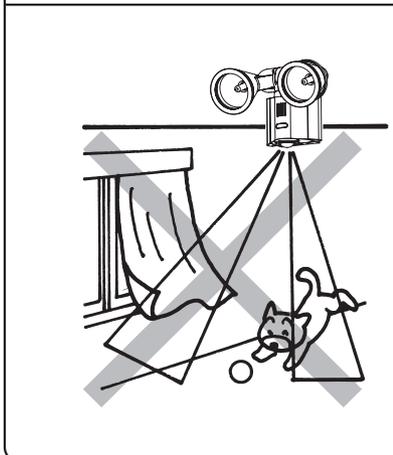
- 検知エリアが木に向いている



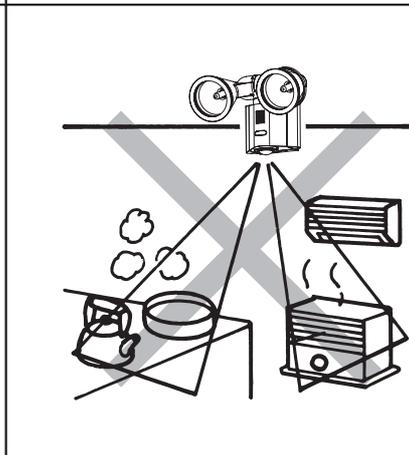
- 検知エリア内に洗濯物がある



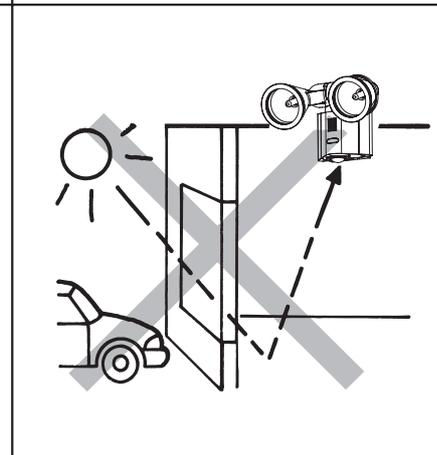
- 検知エリア内に動くものがある
(カーテン、猫、犬など)



- 検知エリア内で急激な温度変化がある
(冷暖房器具、水、湯気、油、すきま風など)



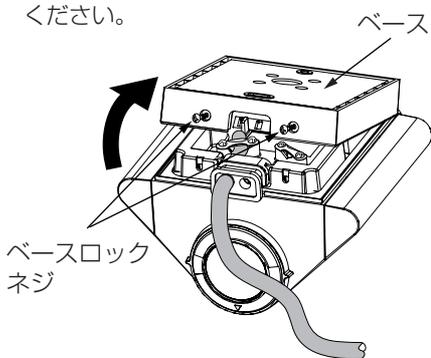
- 直射光、反射光が当たる
(太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライトなど)



電源コードを埋込配線する場合は次の配線方法で行なってください。なお、ご購入時の接続済みプラグ付電源コードをそのまま屋外で使用する場合は、必ず電源プラグを屋外用コンセントに差し込んでください。

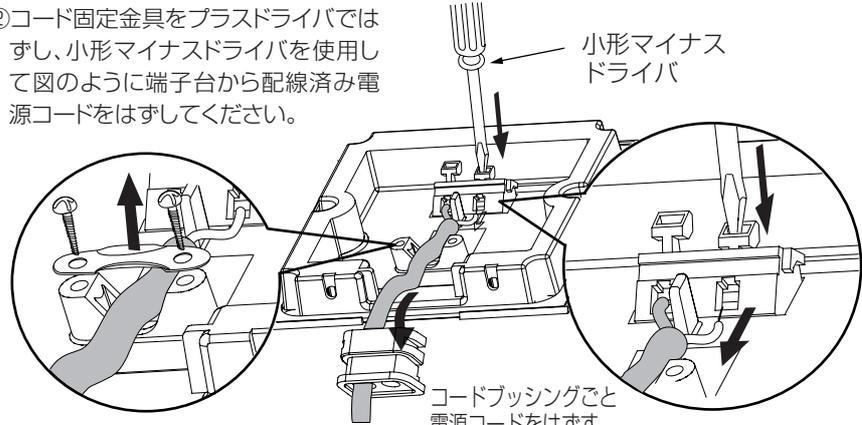
●電源コードを壁に埋込配線する場合

①下図のように本体下部のベースロックネジをはずしてベースを取りはずしてください。



ベース
ベースロックネジ

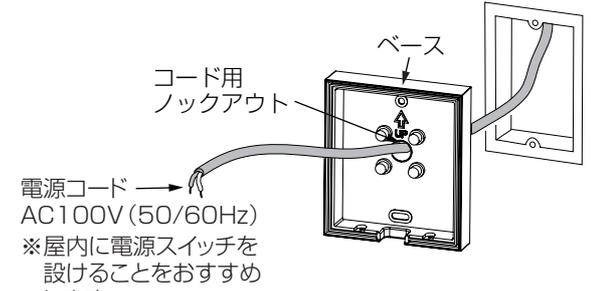
②コード固定金具をプラスドライバーではずし、小形マイナスドライバーを使用して図のように端子台から配線済み電源コードをはずしてください。



小形マイナスドライバー
コードプッシングごと電源コードをはずす

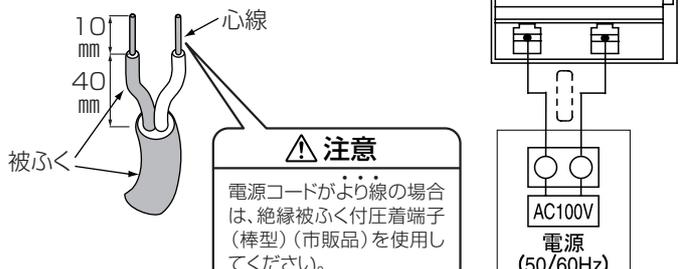
注意 電源工事は電気工事士の資格が必要です。ご購入店や電気工事店に依頼してください。

③ベースのコード用ロックアウトに工具を使用して穴をあけて、この製品に接続する電源コードを穴に通してください。また、外部端子接続用コードの場合も同様に通してください。



ベース
コード用ロックアウト
電源コード
AC100V (50/60Hz)
※屋内に電源スイッチを設けることをおすすめします。

④電源コードの先端処理を下図のように行なって右図の電源端子に接続してください。



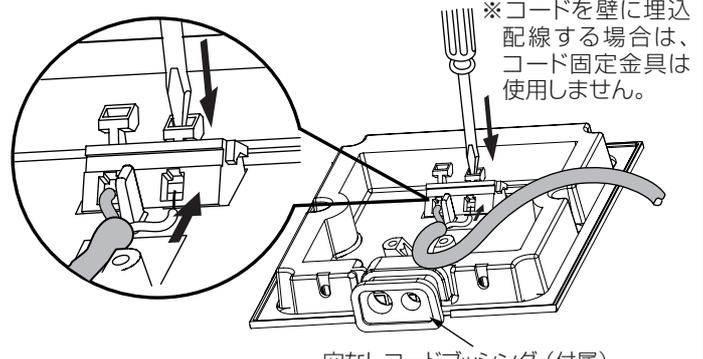
10mm
40mm
心線
被ふく
注意
電源コードがより線の場合は、絶縁被ふく付圧着端子(棒型)(市販品)を使用してください。

<裏面・端子配列>
AC100V
電源 (50/60Hz)

注意 接続するコードは軟銅線を使用し、必ず下記接続可能なコードサイズのものを使用してください。もし規定以外のサイズのコードを使用しますと、端子台に接続できない場合や、固定金具でコードを固定できない場合があり、火災や事故の原因となりますので注意してください。

●使用可能電源コード：被ふく外径 φ5~7mm 心線径 φ1~2mm

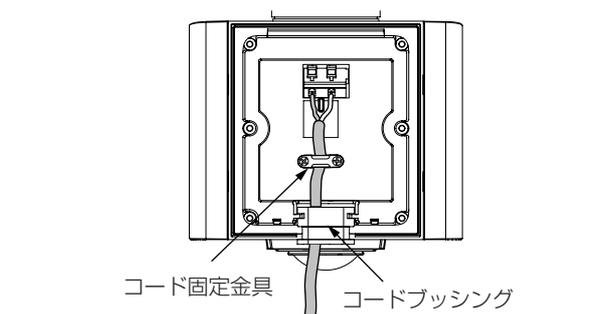
⑤図のように付属の穴なしコードプッシングに取り換えて、電源コードを図の方法で端子台に奥までしっかり差し込んでください。



※コードを壁に埋込配線する場合は、コード固定金具は使用しません。
穴なしコードプッシング (付属)

●コード固定金具の使用方法

電源コードを長いものに交換したり、短くしたい場合で、図のようにコードプッシングから引き出す時は、電源コードが抜けないように、必ずコード固定金具でしっかり固定してください。



コード固定金具 コードプッシング

1. ウォーミングアップ

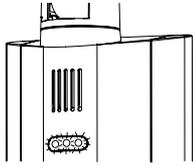
電源プラグをコンセントに接続すると(またはリセットボタンを押すと)、初期動作を行ないます。なお、電源コードを壁に埋込配線して使用する場合は、電源プラグを抜き差しする代わりに中間スイッチやブレーカを操作してください。

①電源プラグをAC100V
コンセントに差し込む。

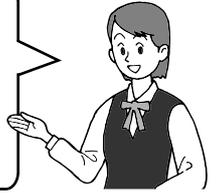


②威嚇LED(3個)が同時に
点滅をはじめます。
なお、この間はライトは点
灯しません。

※約60秒後、自動点灯モード
になります。(威嚇
LEDが往復点滅をはじ
めます。)



※ウォーミングアップは、この製品の人体検知センサが安定するまでの初期動作を行なっており、ライトは点灯しませんが故障ではありません。電源プラグをコンセントに差し込むたびに(またはリセットボタンを押すたびに)、タイムボリュームの位置にかかわらず必ず約60秒間行います。



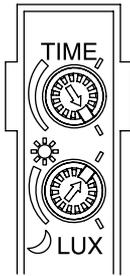
(注) 左記のように動作しない場合は、電源プラグをコンセントに差した状態でリセットボタンを押す(14ページの6参照)または、電源プラグをコンセントに差し直してください。

2. 動作テスト

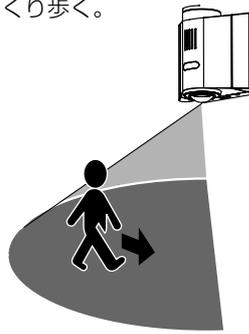
ウォーミングアップ終了後に(威嚇LEDが往復点滅になってから)人体検知センサが正しく検知し、電球が点灯することを確認してください。

①タイムボリュームと明る
さセンサ調整ボリューム
を図のように設定する。
(ご購入時の設定位置)

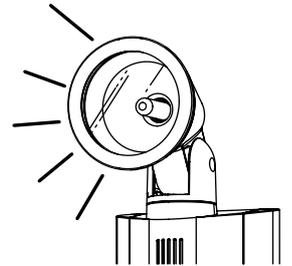
TIME: タイムボリューム
を最短(左回りいっ
ぱい)に回す。
LUX: 明るさセンサ調整
ボリュームを☀(昼、
夜ともに点灯)に
回す。



②検知エリア内を
ゆっくり歩く。



③ライトが
約5秒間
点灯する。

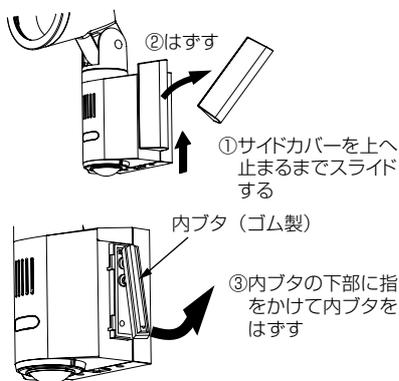


※点灯しない場合や、消灯しない場合は15
ページの「故障かなと思ったら」を参照して
ください。

3. 調整方法

本体の右側のサイドカバーをはずして、下記調整ボリュームでお好みの設定にしてください。

サイドカバーのはずし方(右側)



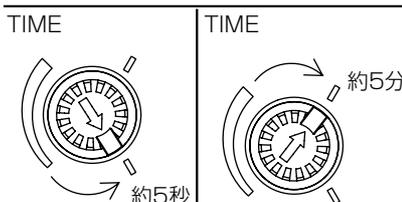
左側のサイドカバーにはボリューム
等はありません。

(1) TIME: タイムボリューム

タイムボリュームでライトの動作(点灯)
時間を [約5秒~約5分] に調整できます

※ボリューム回転角度と時間は比例し
ません。実際に検知動作させて調整し
てください。

※検知エリア内で人が動き続けると点
灯時間が延長されます。(リトリガブル
機能といいます。)

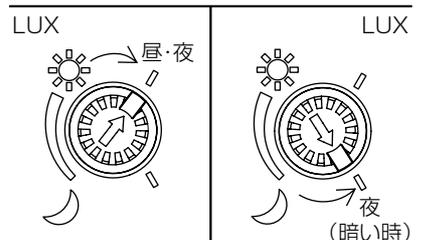


(2) LUX: 明るさセンサ調整ボリューム

明るさセンサ調整ボリュームで

☀ 昼、夜ともに点灯
🌙 夜(暗い時)だけ点灯

に調整できます。
※実際に使用する明るさで検知動作す
るか確かめて調整してください。

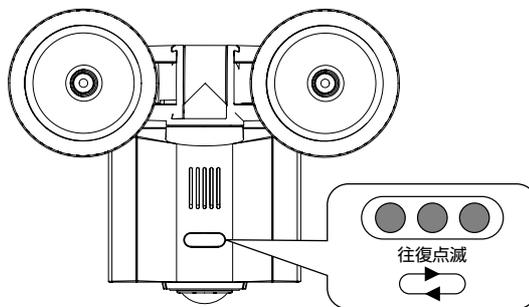


(注) ボリュームは無理に回したり、ペンチ等の工具で回したりしないでください。

(注) ボリューム調整時に取りはずした内ブタやサイドカバーは調整終了後、上記と逆の手順でしっかり取り付けてください。(取り付けが中途半端のまま使用すると雨水等が浸入して故障や事故の原因になります)

4. 威嚇LEDについて

自動点灯モードのとき、本体前面の高輝度LED3個が往復点滅することで威嚇効果を発揮します。



5. モード

下記2つのモードがあります。

(1) 自動点灯モード

「明るさセンサ調整ボリューム」で、あらかじめ設定した明るさより周囲が暗い時に人体を検知すると、ライトは自動点灯します。また、「タイマボリューム」により点灯時間を約5秒～約5分に調整できます。

(2) 強制点灯モード

自動点灯モード中にAC100Vコンセントから電源プラグを抜き、約1～3秒後に再度AC100Vコンセントに電源プラグを差し込むと強制点灯モードになり最大で約60分間連続点灯します。(この間は人体を検知しません。)

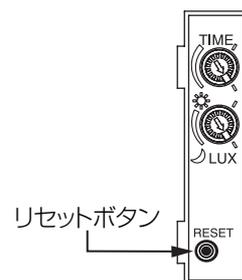
なお、60分を過ぎると自動的に自動点灯モードに切り換わります。強制点灯モード(連続点灯)を途中で解除したい場合は、リセットボタン(下記参照)を押すか、電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源プラグを抜いた場合、10秒以上経過してからコンセントに再度差し込んでください。すぐに差し込むと強制点灯モードが解除できない場合があります。)

※なお、電源コードを壁に埋込配線して使用している場合は、電源プラグを抜き差しする代わりに中間スイッチやブレーカを操作してください。

6. リセットボタンについて

本体右側面にあるリセットボタンを(約1秒)押し、マイコンがリセットされてウォーミングアップ(13ページの1参照)をはじめます。(本体の調整ボリューム位置は戻りません)。

万一、点灯動作がおかしくなったり、連続点灯動作を60分までに中止したい場合などに使用してください。



●はじめにさせていただくこと

故障と判断される前に本体のリセットボタンを押してください。（電源プラグをコンセントから抜くだけで改善する場合があります。）それでも症状が改善しない場合は次の項目をチェックしてください。

電源を入れても点灯しない

- ウォーミングアップ時間である ⇒ 電源投入後またはリセットボタンを押すとウォーミングアップを行い約1分間は点灯しません。  P.13
- 電球が切れている ⇒ 新しい電球に交換してください。  P.5
- 電球が正しくセットされていない ⇒ 電球を軍手などの乾いた布で持ち締め直してください。  P.5
- 電源コードが本体に正しく接続されていない ⇒ 電源コードを確実に接続してください。  P.12
- 安全ヒューズが切れている ⇒ 定格を超えた負荷がかかったものと考えられます。（修理が必要です。）  P.5、16

人がいるのに点灯しない

- 人が検知エリアに入っていない ⇒ 検知エリアを再確認してください。  P.7、8
- 人が動いていない ⇒ 検知エリア内に人がいても動かないと点灯しません。再度動くと点灯します。  P.7、8
- 人が正面から近づいている ⇒ センサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。  P.7
- 地面や壁と人の温度差が少ない ⇒ センサは人体と背面物との温度差を検知するため、温度差がほとんどないと検知しにくい場合があります。（例：雨のかかったレインコートや冬場重ね着をした場合、真夏に背面物と外気温および体温がほぼ等しくなった場合）  P.7
- 検知エリアの前にガラスなどの遮蔽物がある ⇒ センサの前にガラスや壁などの遮蔽物があると、人の動きを検知できません。検知エリアの調整または取付場所を変更してください。  P.11
- 周囲が明るい ⇒ 照度センサにより明るさ調整ボリュームが「☺」の時、周囲が明るいと点灯しません。  P.13

人がいるのに消灯する

- 人が動いていない ⇒ 検知エリア内に人がいても動かないと点灯しません。再度動くと点灯します。  P.7
- 点灯時間が短い ⇒ タイマボリュームを右（時計回り）に回してください。  P.13
- 検知エリア内に人が入っていない ⇒ 検知エリアを調整してください。  P.7、8

消灯しない

- あらかじめ設定された点灯時間が長い ⇒ タイマボリュームを左（反時計回り）に回してください。  P.13
- 検知エリア内に人がいる、または木々の揺れ、エアコンの室外機など急激な温度変化のある熱源が存在する
⇒ 検知エリアから離れてください。また、センサの向きを変えたり、付属のエリアマスキングカバーを使用するか、熱源を移動させてください。  P.8、9、11
- 強制点灯モードになっている ⇒ 強制点灯モードを解除してください。  P.14

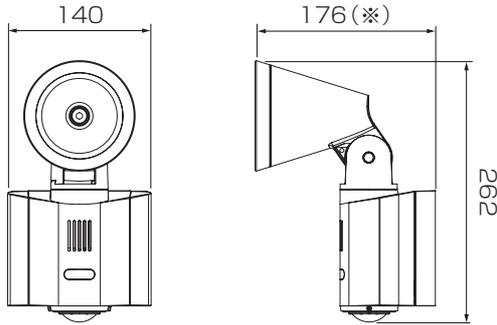
人がいないのに点灯する

- 検知エリア内に動く物がある（庭木、洗濯物、道路の車、犬や猫など） ⇒ 動くものがあると検知して点灯することがあります。また、犬や猫などが検知エリア内を通ると点灯することがあります。取付場所を変更するか、動く物を取り除いてください。また、エリアマスキングカバーによって制限することもできます。  P.9、11
- 検知エリア内に熱源や、風を出す物がある ⇒ 検知エリア内や本体付近に熱源や風を出す物（ヒーターやクーラーの室外機、換気扇など）があると点灯することがあります。取付場所を変更するか、熱源や風を出す物を取り除いてください。また、エリアマスキングカバーによって制限することもできます。  P.9、11
- 検知エリアの延長線上に動く物がある ⇒ 自動車などが検知エリアの延長線上を通過すると、検知することがあります。また、周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。取付場所を変更するか、検知エリアの範囲を変更してください。また、エリアマスキングカバーによって制限することもできます。  P.9、11
- 本体の1m以内に電波を出す機器がある ⇒ 電波を発生している機器を1m以上離してください。  P.11

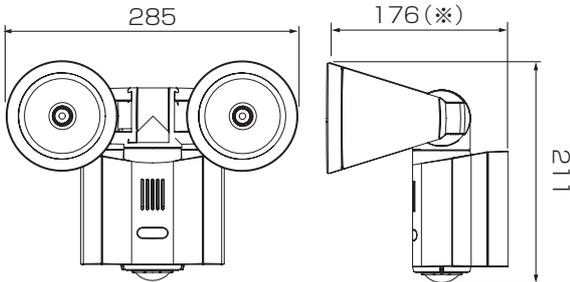
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	約85W (待機時2W以下) SL101A 約160W (待機時2W以下) SL102A
適用電球	ハロゲン電球JD100/110V85W×1 SL101A ハロゲン電球JD100/110V85W×2 SL102A
センサ検知方式	焦電形赤外線センサ
センサ検知範囲	水平約360°・距離約10m (最大時目安)
ライト動作	約5秒～約5分 (可変式) 自動点灯モード 約60分 強制点灯モード
使用温度範囲	-20～+50℃
外形寸法	下図参照
質 量	約1.0kg (電源コード含まず) SL101A 約1.5kg (電源コード含まず) SL102A
設置場所	屋内、屋外 (JIS保護等級 IPX5)

仕様および外観は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

SL101A



SL102A



※付属のライトフード取付時はさらに75mm延長されます。 単位: mm

保証とアフターサービスについて

- この製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの各支店・営業所にお問い合わせください。

●無料修理規定

1. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。
2. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源 (電圧、周波数) や異常電圧による故障および損傷。
 - ④故障の原因が本製品以外の部分 (例えばテレビ受像機等)、またはその他の機器によって生じた修理、および改良。
 - ⑤一般家庭用以外 (例えば車両、船舶への搭載) に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書が添付されていない場合。
 - ⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 本保証書は日本国内にのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
4. 期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. この保証書によって保証書を発行しているもの (保障責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書

品番 SL101A SL102A	※お買上年月日 年 月 日	保証期間 お買い上げ日より 1年間
※ご販売店 ご住所・ご店名 電話 () -		

※お名前 ふりがな	様
※お客様 ご住所	〒□□□□□□ 電話 () -

※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・柏出張所 TEL.(04)7192-1681(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・中部支店 TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・厚木出張所 TEL.(046)225-6102(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)			(2008年3月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
 カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
 ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>